

異世界から転生した俺は

闇の力

勇者PTに復讐する

夢ミガチ





転生、  
生まれ変わり…

今世で寿命を  
終えた者の魂が、

時空を超えて  
再び生命を得る  
循環の理

俺、間宮蒼司は  
階段から落ちた衝撃で、

前世…それも、

異世界で  
暗黒魔術師  
ガリアスとして  
生きた記憶と、

暗黒魔術を  
操る術を  
思い出した

まずはクラスメイトであり、  
女戦士の転生体であった  
加藤陽菜を支配した俺は

様の…

忠実な淫乱  
メス奴隷です…♡

気になる人は  
女戦士編をチェック！

ご奉仕……  
させて  
いただきます……

次に見つけた  
魔導士の転生体である  
霞沢響をも支配

気になる人は  
天才魔導士編をチェック！



2人を従え  
得た魔力を使い  
僧侶の転生体である  
花村沙希を：

ガリアス様の  
仰せのままに…♥

花村沙  
ガリア  
魔術に

気になる人は  
女僧侶編をチェック！

勇者パーティ  
僧侶ミリエル



ガリアス様に…  
忠誠を誓います…♥

沙希の幼馴染だった  
勇者の転生体  
浅風雫香をも  
その配下に下した

仲間からの  
誘惑に  
耐えられず…

敗

気になる人は  
勇者編をチェック！

勇者リディア  
精神支配に  
限界まで耐え

ついに勇者ロー  
4人を手中に  
収めた俺が  
次に狙うのは

「前世」の世界である  
あちら側へ渡るため  
次元移動が可能な  
神の召喚だった：

フク  
ネ  
オ  
オ  
オ





勇者  
リディア

伝説の剣を抜くことができた乙女。  
青みがかった銀髪をもち、  
神秘的な雰囲気を持っているが、  
実際は少し天然でお人よし、  
食べることが好きな女の子。  
魔王討滅後、その行方は分かっていない…。



戦士  
ノヴァ

魔王に故郷の村を焼かれ、傭兵になった少女。  
無骨で粗野、ガサツな性格だと自負しているが、  
その心根は優しく、曲がったことが嫌い。  
魔王討滅後、天寿を全うし、  
『加藤陽菜』として現代世界へ転生した。



魔導士  
エリス

年齢10にして魔導士の最高学府を卒業し、  
国に顧問魔導士として仕えていた天才少女。  
しかし、幼少期から政治の世界で暮らした結果  
他人を信用できない性格になってしまった。  
不真面目なノヴァとは犬猿の仲。  
魔王討伐後は顧問魔導士を辞し、隠居。  
自分の好きな魔法の研究に打ち込んだという。



僧侶  
ミリエル

女神に選ばれた聖女として教会に使える少女。  
普通の村娘だったが、類稀な癒しの力を持つことを  
教会の手伝いをしているときに知り、  
司教見習いとして協会本部で働いていた。  
少し気弱で、争いごとは苦手。  
魔王討伐後は司教となり、  
その生涯を女神に捧げた。

登場人物は全員成人済みです。

話の内容は全て架空のものであり、実在の人物・団体などとは全く関係ありません。

この本を無断でアップロードすることは禁止されています。

All characters are adults.

The content of the story is entirely fictional and  
has no relation to real individuals or organizations.

Unauthorized uploading of this book is prohibited.

所有角色均已成年。

故事内容完全虚构，与现实中的个人或组织无关。

禁止未经授权上传此书。

등장인물은 모두 성인입니다.

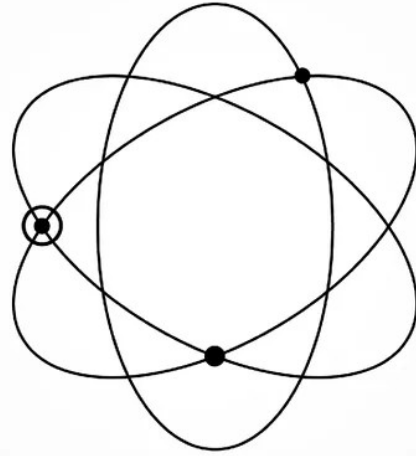
이야기의 내용은 모두 허구이며, 실제 개인이나 단체와는 전혀 관련이 없습니다.

이 책을 무단으로 업로드하는 것은 금지되어 있습니다.

主人公であるガリアス様の前世の話とか  
あたしが洗脳されて支配されちゃう話が  
気になる人は『女戦士編』を、  
元魔導士の貧乳メガネっ娘が洗脳されて  
支配されちゃう話が気になる人は  
『天才魔導士編』を読んでくれよな！  
念のため前回までのあらすじが  
ついてるけど、前作を読んでなくても  
今作はお楽しみいただけるぜ！！



この世界は  
3つの次元から  
成り立っている



源界・現界・天界の  
3つである

魔法と剣、  
幻想が支配する  
原初の世界

源界

科学と理性、  
秩序が支配する  
文明の世界

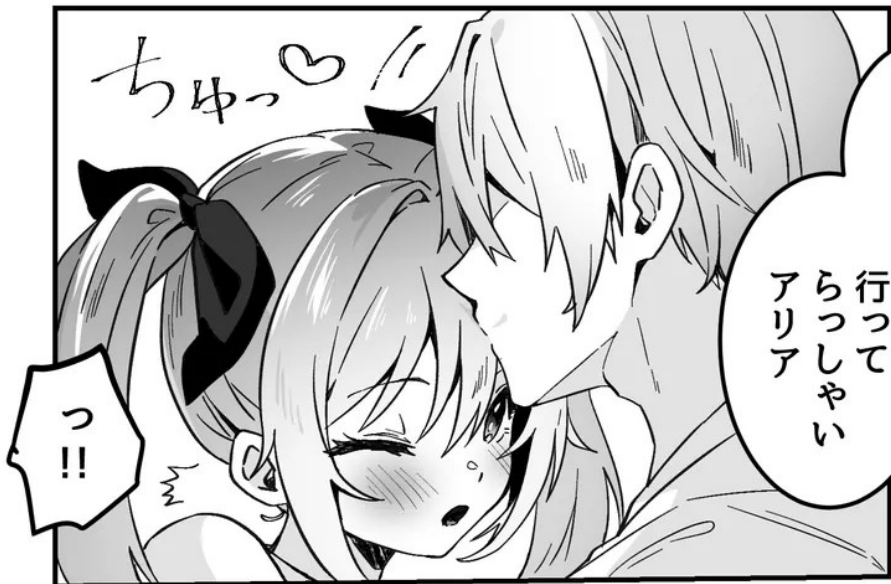
現界

二つの次元の間で  
魂は流転し、  
生と死を繰り返す

それら2つの次元を  
天界に住まう  
神々が管理し、

この世界は  
保たれている

それでは  
行ってきますね



ちゅっ♡ //

ああ、  
行って  
らっしゃい  
アリア

っ!!



はは、  
ごめんごめん

も、もうっ  
朝から大胆  
すぎよ…っ

はっ!!



愛してるわ  
あなた

魂の流転を  
司る女神にして  
貞淑な妻である

—私の名は  
女神アリア



現界での仕事  
頑張ってるよ  
愛してるよ

ええ、私も…



私は現在一  
現界に降り  
ヒトの暮らしに  
身を置いている

おはせま  
おはせま

／おはせま  
おはせま



現界

キーンコーン  
カーン  
コーン



それは、浅風 凵香：  
前世の記憶を持つ  
少女を監視するためだ

そのために  
彼女と同じ学校に通い、  
生徒会長を勤めている



一度お見舞い  
行つて様子を  
見るべきかしら…

08:15  
あさかせしずか  
うん、大丈夫。  
気を付けて帰るね。 8:10  
ありがとう! 8:10  
昨日  
会長、おはよー 8:01  
原稿 8:01 おはよう、具合はどう?大丈夫?  
うん、まだ熱が下がらなくて…  
今日も学校休むね。生徒会の  
会議出れなくてごめん…>< 8:06  
了解 8:06  
気にしないで

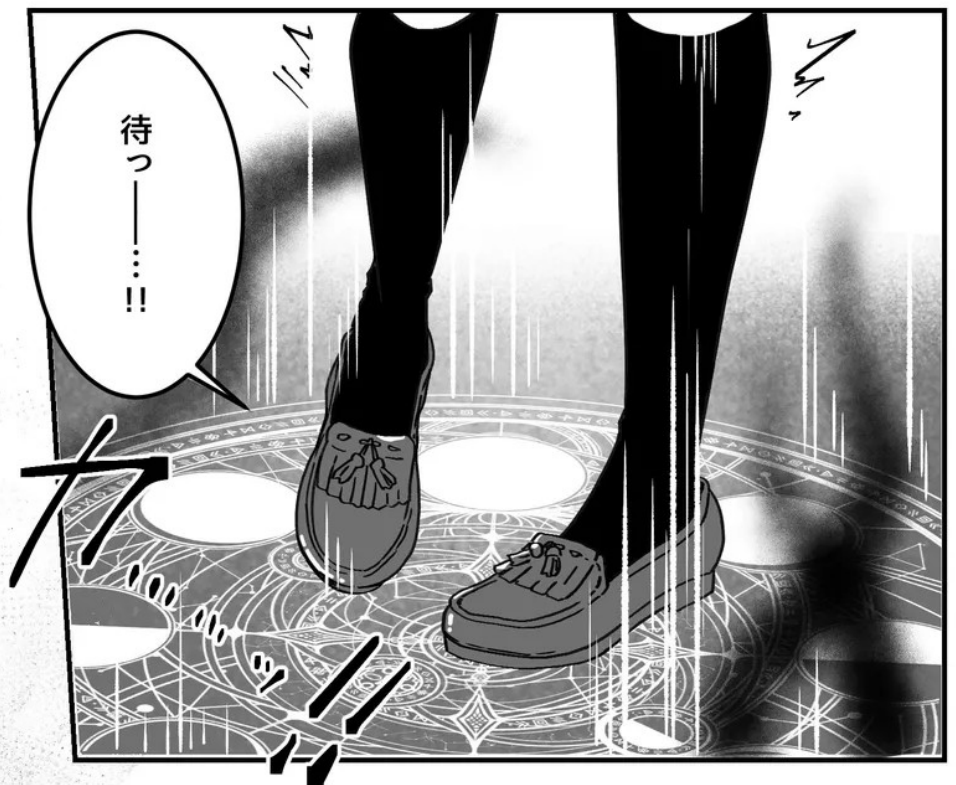
凵香、  
今日も来て  
いないのね…

たぶ

たぶ







少し前のこと...

魔法とは：  
『魔力』を燃料にして  
発動する術だ

魔力は感情の  
揺らぎから生まれる  
喜び、怒り、悲しみ……

加藤 陽菜  
前世：戦士ノヴァ

資料室

マスター、  
儀式の準備が  
整いました！

でも、これで……  
本当に神様を召喚  
できるんですか？

ああ、無論だ

感情によって  
使う魔法に  
適性がある

暗黒魔法の効果  
最も高める  
心の揺らぎが

「快樂」だ

そして貴様たちの  
快樂を基にした  
魔力が儀式の  
核へと注がれる…

花村 沙希  
前世  
僧侶ミリエル

霞沢 響  
前世  
魔導士エリス



暗黒魔法:分体生成

そうすれば…  
別次元から  
神をも召喚する  
事ができるのだ

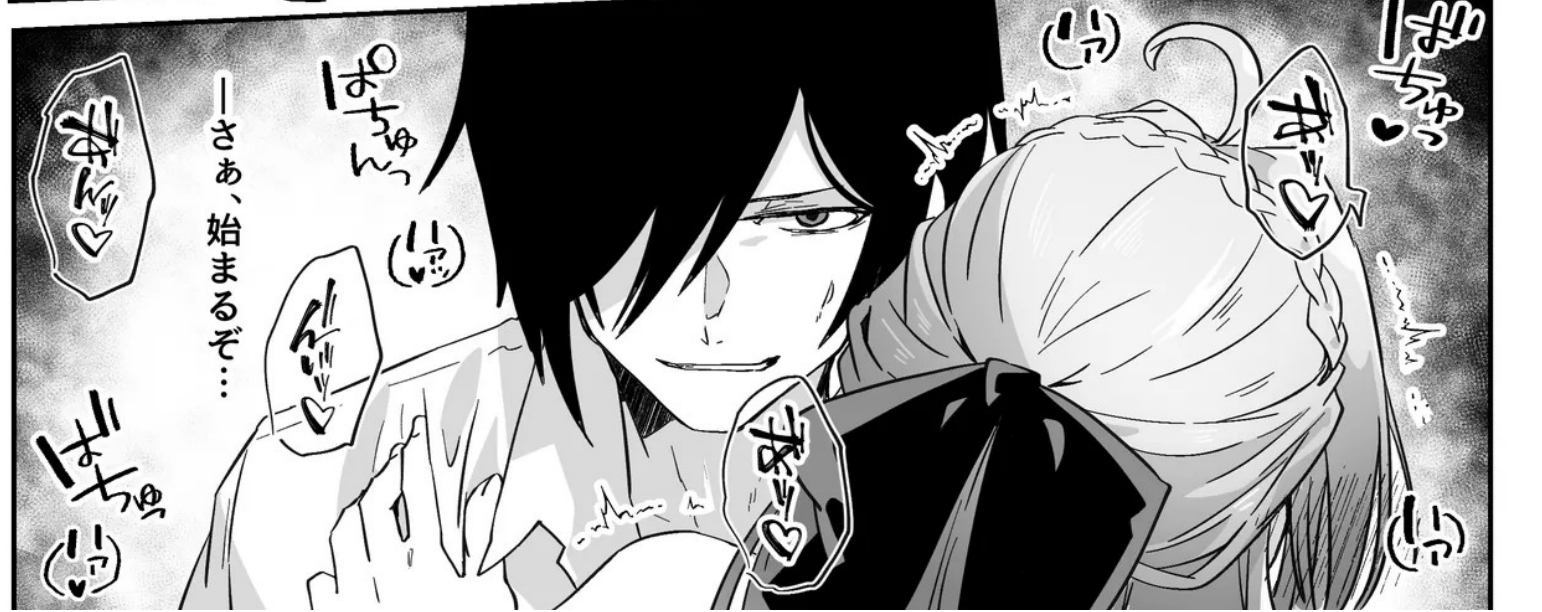
あとは我々が  
儀式に加わる  
だけだ

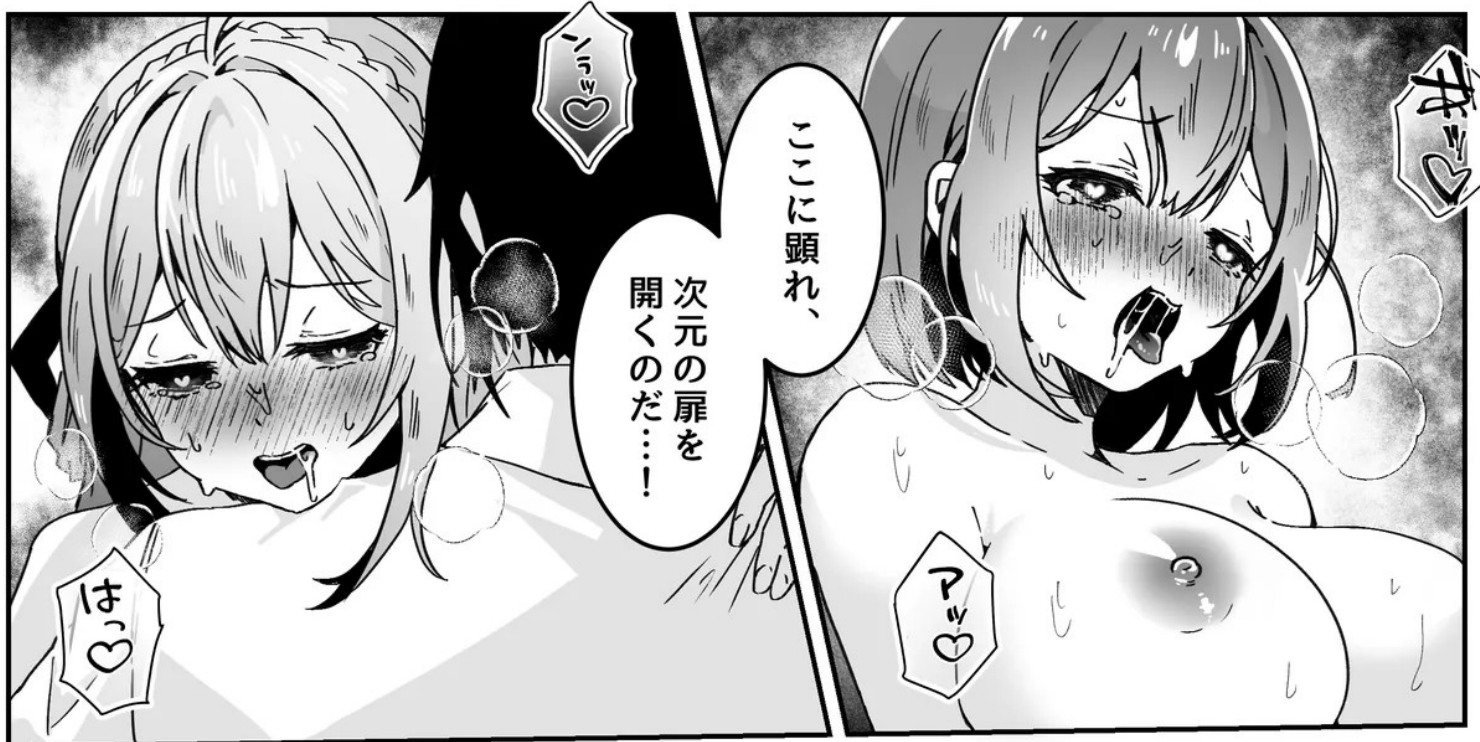
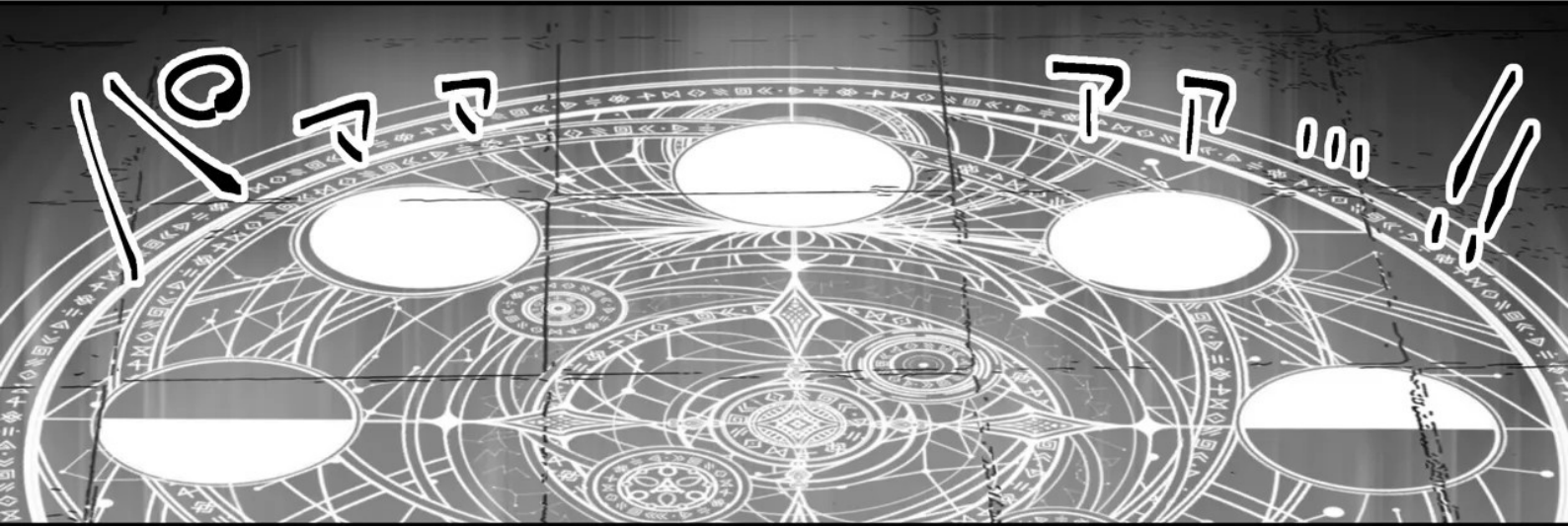
さあ、来い  
栗香よ……





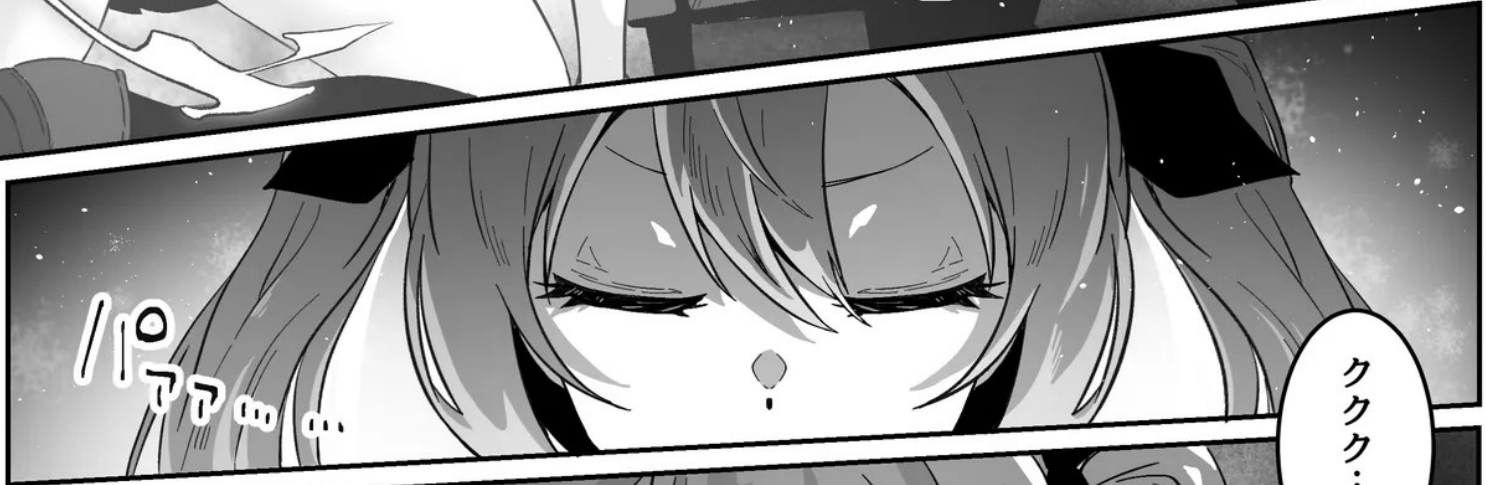
朝風 雫香  
前世  
勇者リディア







我が欲望に応じ  
降臨せよ——！



ククク……



召喚、成功だ



あ、あれ？  
おどろかされたか？

な...  
な.....っ

な.....



女学生...？

む...



召喚していい  
わけない  
でしょう!?

こんな  
儀式で神を

なんて  
ハレンチな  
ことを  
してるの!?

あああ

あああ



許せませんー!!



風邪と聞いたから  
心配していたのに...  
い、いつの間に  
こんな事を.....っ

キーン...

げ、現界で  
こんな儀式を  
行うなんて...!!

稟香!?あなた  
自分が何を  
してるか  
分かっていて!?

あ、あの  
ついでに...

あ、あの  
ついでに...

あ、あの  
ついでに...



私は天界より  
派遣された—  
次元神アリア

魂の流転と秩序を  
司る者として、  
この場の異常を  
正します！



あなたが何者か  
知らないけれど…

彼女たちを  
解放しなさい

こちらの世界に  
魔法を持ち込んで  
ならないのよ

フ…ッ  
威勢のいい  
女神だ

つまり貴様は…  
この女たちが

どうなっても  
構わない…  
という事だな？

ぐっ、  
あ…ッ

栗香ッ!!

ギリッ

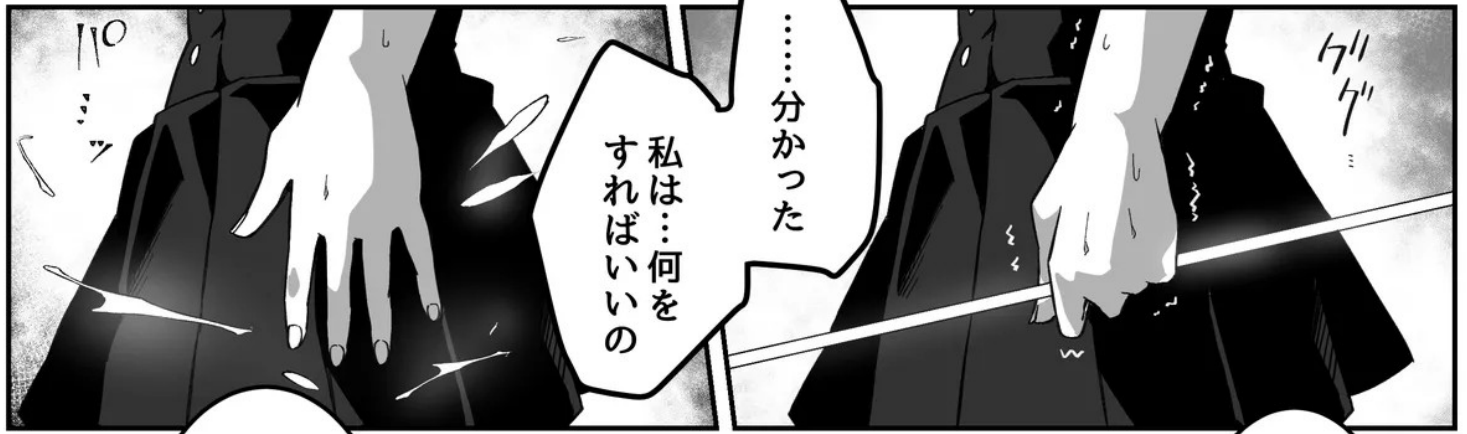
貴様が従順に  
なるのであれば

女どもを  
解放してやる事も…  
考えてやるが？

か、会長…

た…、  
たす、け…

—ッ!!



……分かった

私は…何を  
すればいいの

ふむ…  
そうだな

召喚で使った  
魔力が思いの  
ほか少ない…

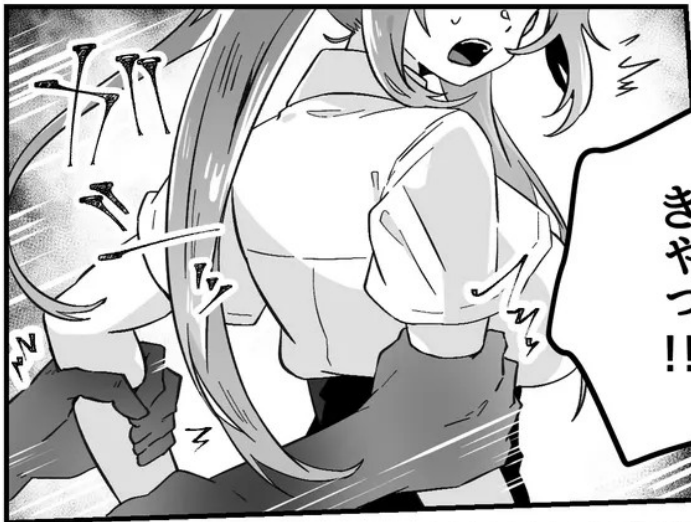
ならば…  
試してみるか



俺に…  
その身をもって  
奉仕してみせろ

女神として  
でなく…  
女としてな





きゅっ!!

それって  
どういう...



な、なに...!?!  
神の力を求めて  
召喚したんじや  
ないの...!?!

私に何を  
させ—ッ



さあ、舐めろ  
口で奉仕するんだ

—っ!  
!?!

こ、これが男性の…  
旦那様のももの  
見たことが無いのに…

えっ、待って…  
奉仕ってそういう…  
いかがわしい  
意味なの…?!

うそ、そんな…  
回で奉仕って…?  
な、何をするの…!?

どうした、  
嫌とでも言うのか？  
ならば女達を—

は…?  
っ、あ—  
だ、駄目!

は…!!  
そ、その子達を  
虐げるのは  
やめなさい…ッ

わ、私が…  
私が代わりに…

で、でも…そんな…  
どうやって…?

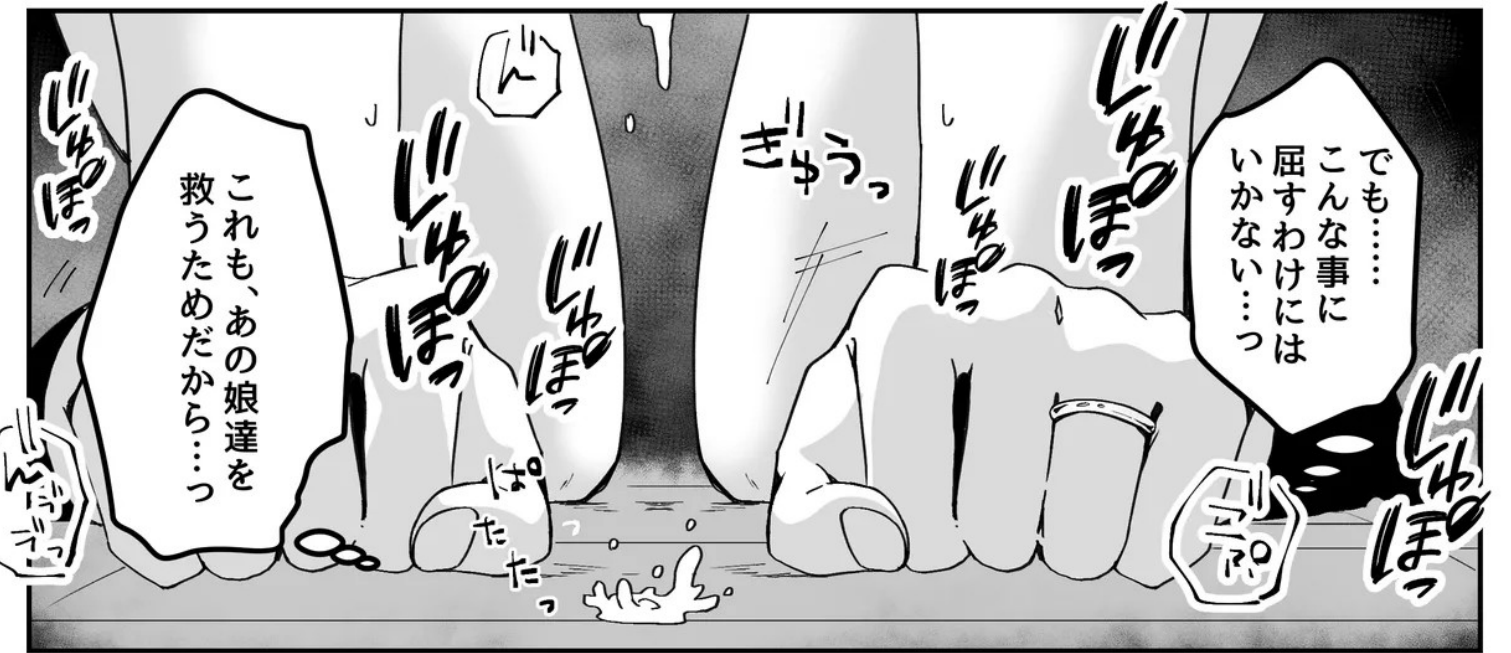
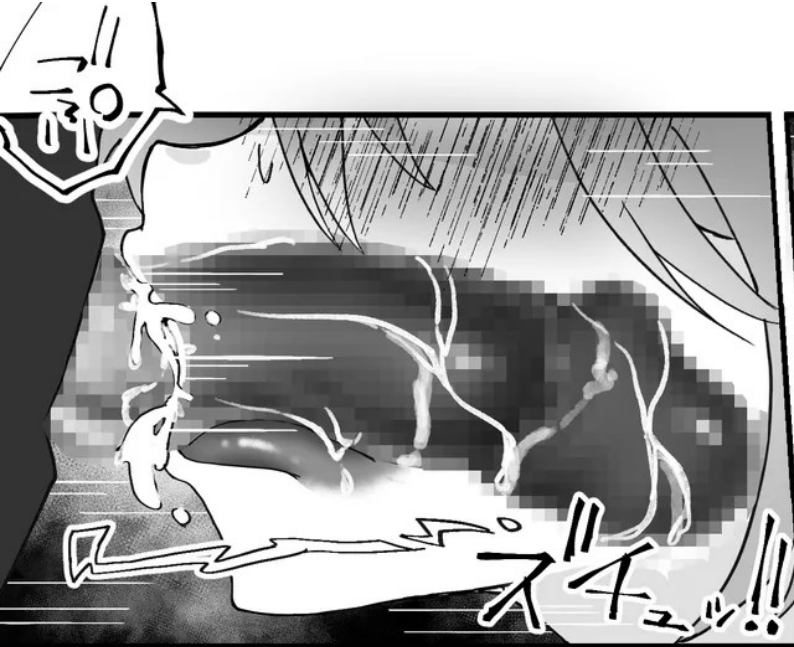
ひっ、あ、熱…ッ  
嘘でしょ、  
これを…?

おい、何を  
もたもたしてる

—っう!?

ちゅんっ





なかなか  
上手い  
ではないか…

生娘のような  
反応だったが…  
誰かに仕込まれたか？

一度…我が魔力  
浴びせてやろう

んんう!!  
んぐ、ううう!!

んんう!!  
んうツ、ん!!

Aha!



こ、これ…ッ  
クラクラする…  
すごく…濃いい匂い…

ちがう、これは  
体液に魔力が  
含まれてる…？

えっ…

—まだ終わり  
ではないぞ

グイッ!!



じきや、ああ!!

ブチ

ブチッ









なにを呆けている  
クク…まさか  
達したことが  
無かったのか？

っう！あ、  
達…え…？

グッ



神々の世界に  
快樂は存在  
しないとみえる



フ…ッ  
まさか女神が  
こんなにも  
ウブだとはな

ひあつ  
やつ、だめッ

んぐっ  
んうう！！

にゅわん



かほっ♡

口の中も…手も…  
胸も…あそこも…っ

かほっ♡  
かほっ♡  
かほっ♡

い、嫌…っ  
身体が…どンドン  
敏感になつてる…っ

おっぱい♡



おっぱい♡  
おっぱい♡

はぁっ♡

はぁっ♡  
はぁっ♡

はぁっ♡

おっぱい♡  
おっぱい♡

おっぱい♡

熱い…  
どくどくしてる  
男の人の…  
触らされて…  
おっぱい♡



おっぱい♡  
おっぱい♡

だめ、また、  
また来ちゃう…っ  
来ないで…!!!



おっぱい♡  
おっぱい♡





だ、だめ…  
これを浴びると

意識が朦朧と  
していく…っ

きや…シ



クク…まだ  
終わりでは  
ないぞ…

あ…  
次は…ここで  
奉仕してもらおうか

なっ、だ、だめよ!!  
そんなこと…っ

それは夫婦の  
契りでしょう!?

ぬち…っ

あ…

え…

!!  
!!  
!!

!!  
!!  
!!







これが、夫婦の…？  
旦那様と…  
するはずだった…ツ



なにこれ…ツ  
おなか、熱くて、  
痺れて…ツ



なにを  
呆けている…  
相手は私だけ  
ではないんだぞ

あ…ツ？

え…



ひま  
つうそ、  
だめえッ

なにをする気—

OK



んっ!!  
んん!!

んんん

んんん

んんん

んんん!!  
んんん!!

んんん

んんん





きもち…いい…?  
この熱…痺れ…

これ…快楽…?  
私…気持ち、  
いいの…?



たいそう気持ち  
よさそうではないか…

穴という穴を  
蹂躞され…



ごめんなさい…  
あなた…

私、  
あなた以外の  
男の人で…



そっか…これって  
気持ち良かったんだ…



その身を快楽に  
任せるのだ!!

さあ、いけ!

気持ちよく  
なってる...っ♡



おっおっおっ  
おっおっおっ

おっおっおっ  
おっおっおっ

駄目…!  
とまらないッ

気持ちいいの  
終わんない…ッ!









私：私、  
知ってしまった…



ごめんなさい、  
あなた…

返事…ないな…  
今日は忙がしい  
…かな？



これが、  
これが…



快樂なのね…♡

はい♡

はい♡

はい♡

はい♡

はい♡

はい♡

はい♡

はい♡



クククク…  
そろそろ中に  
魔力を注いで  
やろう…!!

私の胎内に  
射精しようと  
してるの  
分かる…ッ

ああ…  
すごい…ッ  
おちんちん  
脈打つてで…











前世の頃から  
この世界には  
別の次元が  
存在している事は  
確信していた

この世界を  
支配した  
別次元をも  
支配しようぞ!!

女王よ、  
この理論が  
正しいかは  
別次元は存在  
する!!

人類との戦に  
時間を取られ、  
研究を続けることは  
出来なかったが…

あの頃の研究を基に  
俺は"あちら"の世界へ  
戻る方法を考案した

それは別次元に  
存在する神の召喚だ

- 世間知らず
- ちょろい
- 純真無垢
- 左わかすぎいが  
なんともなこる



あたしは  
役職もない  
低級神  
だよ〜

一般的に  
神族

ついで次元間の  
移動を行う術は  
見つからなかったが…

それを可能とする  
神族を召喚すれば  
問題は解決する

召喚のために  
こちらの世界で  
足りないものは一つ

— 魔力だ

なんだこの世界!!!  
魔力の拡散が  
恐ろしい速さだ  
貯め置きない  
よっになってるのか

カリマス  
さまー♡

なんか  
あたし

キ伝い  
ますよー♡

あっち  
行ってなさい

前世の復讐…そして、  
魔力不足を解消する為に  
その身体に魔力を  
秘めている勇者たちを  
探し集めていたのだ



召喚した神を  
従僕にできるとは  
思っていなかったが…

喜ばしい誤算だ

アリアよ

ふあい…?


次元の扉を  
開いてみる

こちらではない、  
あちらの世界への…


ああ、  
それでしたら…







我らの故郷へ  
連れて  
行ってやろう



今回は  
失敗しない…

なんせ、  
邪魔をする  
貴様達が  
居ないからな…

END…?

## ガリアス様こぼれ話

- ・他の次元神でなくアリアが召喚されたのは  
召喚魔法が『1番近くに居る神族』を召喚する  
魔力節約用の魔法だったから。  
雫香の高校に居たアリアが  
1番近くに居たので召喚された。
- ・アリアが召喚されたとき、  
アリアの足元に出た召喚陣とかを  
生徒が目撃しちゃってザワザワだったので  
あのあとアリアと雫香の高校に行って  
目撃者に精神支配の魔法をかけて忘れさせた。
- ・ガリアスは、普通の男子高校生としての記憶も  
そのまま保持しているので、  
前世の魔王軍のガリアスと比べると  
かなり常識的で丸い性格になっている。  
今なら村を焼くにしても女子供は逃がしてくれるよ。  
前世の頃は逃がさなかったから勇者PTにはかなり恨まれていたよ。
- ・神族は不老不死で人口が減らないので  
男女が恋仲になることが有っても  
子供を作ることはかなり稀。  
男女ともに性欲が薄いので  
女神族がエッチな恰好でウロウロしてても  
「おしゃれね〜」って感じなので  
神族は人間から見るとエッチな恰好を  
していることが多い。



一方そのころ  
勇者PTの  
みんなは…



なあ、  
お前さ

あれ、どういう  
つもりだよ

さっき、あの神さまに  
「助けて」とか  
言ってたけど…

あたし達、  
ガリアス様に  
忠誠誓ってるんだろ

裏切る  
つもりなら  
あたし…

陽菜…





なに  
言ってるのよ

そう言った方が  
あの女神さまが  
言う事を聞く  
思ったから

静香さんは  
わざと助けを  
求めたんでしょ

はあ!?  
分かんないだろ  
本心ならどうする

聞いてたら  
分かるわよ  
そんなの



分かん  
なかったから  
聞いてんだろ

なんか顔見知り  
みたいだったし  
あやしいじゃん!

それはそう  
だけど...

静香さんのお陰で  
あの人が大人しく  
なったのも事実でしょ

んだと...!



っふふふ...っ



ううん、  
違うの

ごめん…  
なんだか懐かしく  
なっちゃって…



っ、ふふっ  
あは、あはは…っ

っ！  
なに笑って  
んだよ！！

こっちは  
真面目に—



みんな、全然  
変わってない…

生まれ変わっても  
あの時のまんま…

けんか…？  
あま…  
あま…



…それなら  
いいけどさ



エリスの…響の  
言う通りだよ

会長に大人しく  
なってほしくて…

助けてって  
言ってみたの



その、まだ…  
かかりそうだし…

たかに…

私、お菓子  
作ってきたの  
食べながら  
待ってない？



ね、ねえ



そっか…私…また  
この4人と一緒に  
居れるんだ…

もう無理だと  
思ってたのに…  
まさか、こんな日が  
来るなんて…

これ自分で  
作ったのか？  
すごいな

えへへ…  
おかし作じ  
好きなんだ

それじゃ私  
お茶入れようわ  
すまじまごね

わー  
ありがとー



ほら、  
静香ちゃんも！

それなら、  
私は…



最初は…  
どうなる事かと  
思っていたけど…

こうして皆と  
いられるのも  
あの人のお陰…



発行元：Yumemi Dream Land

著作：夢ミガチ

発行日：25.08.04

p2tat0k2maru@gmail.com

本書の一部または全部を  
購入者本人以外の不特定多数が閲覧可能な状態に  
置くすべての行為を禁じます。

All acts of placing part or all of this document  
in a condition where it can be viewed by  
an unspecified number of people other than the purchaser  
himself/herself are prohibited.

END